

クラスター	代謝・情報系クラスター			
授業科目名	組織学特論・実習			
担当者名	責任者	八月朔日 泰和	分担者	鮎川 友紀, 吉川 究
単位数	1単位(選択)		配当年次	1, 2年次
授業形態	講義, 実習	実施場所	授業計画の[実施場所]を参照	
開講期間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			
<b>授業の概要・到達目標</b>				
<p>授業の目的: ヒトを含む生物の器官は、様々な組織の組み合わせにより成り立っている。本授業では、細胞および組織レベルの観点から、器官構築の分子構造について理解することを目的とする。また、蛍光イメージングや数理モデルを駆使した最近の研究成果を交えながら、器官構築がどのように制御されているのか紹介するとともに、形態解析法について学ぶことを目的とする。</p> <p>授業の到達目標: 細胞および組織レベルの観点から、器官構築の分子構造について理解し、説明することを目標とする。また形態解析法を理解し実践することを目標とする。</p> <p>授業の概要:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.2. 組織学特論-形態学的解析法を中心として-</li> <li>3.4. 組織・器官構築に関する分子遺伝学的研究</li> <li>5.6. 器官構築における結合組織の役割</li> <li>7.8. 器官構築における上皮組織の役割</li> </ol>				
<b>授業計画</b>				
	講義 (講義)	題目 (内容)	担当教員	講座名 [実施場所]
1	組織学特論-形態学的解析法を中心として-		八月朔日 泰和	Web Class
2				
3	組織・器官構築に関する分子遺伝学的研究		鮎川 友紀	
4				
5	器官構築における結合組織の役割		吉川 究	
6				
7	器官構築における上皮組織の役割		鮎川 友紀	
8				
<b>授業形態および成績の評価方法・基準</b>				
Web Classでの講義30時間＋自学自習15時間、計45時間で1単位とし、評価は視聴状況と提出したレポートの内容を考慮して行う。				
<b>問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)</b>				
八月朔日 泰和, yahodumi@med.akita-u.ac.jp				
<b>その他特記事項</b>				
履修に関する情報: Web Classでの視聴について受講者に連絡します。				
教科書・参考文献: 必要に応じて科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します。				
自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。				